

匝瑳市市民協働の推進に関する要望について

(意 見 書)

令和4年8月29日

匝瑳市市民協働推進協議会

匝瑳市市民協働の推進に関する要望について

(意 見 書)

令和2年9月に匝瑳市市民協働推進協議会委員の委嘱を受け、市民等が主体の協働を推進し、もって豊かな地域社会の実現に寄与することを目指して、試行錯誤の中で検討を進めてまいりました。

これまでの取組の成果を踏まえ、協議会として総括を行い、匝瑳市市民協働の更なる前進に向けた今後の方向性を意見書として取りまとめ、ここに要望いたします。

記

1 三位一体による協働への取組について

持続可能な行政への転換を図るには、これまでの「市民参加のまちづくり」を基礎とし、「政治」「行政」「市民」が三位一体となって取り組む活動へ前進させていくことが不可欠です。

「政治」には市長のリーダーシップを、「行政」には活動への支援をあらためて求め、「市民」に対しては、活動の主体としてまちづくりに参画する意識の醸成を更に高めていく取組が必要です。

2 市民提案型事業助成制度の改正について

市民協働の活動が低調な原因を分析しつつ、地域に目を向けてみると、活動資金の確保が課題となり、継続的に取り組んでいくことが困難という声が多く聞かれます。

市民等が主体となって取り組む活動を地域に浸透させ、協働の裾野を広げていくには、助成制度の見直しが強く求められており、

(1) 一部負担を伴わない助成制度の新設

(2) 継続して活動資金を支援する仕組みづくり
が必要です。

3 市民活動サポートセンターの充実について

市民等の様々な活動を幅広く支援する場として設置されたもの
ですが、現在は専任の職員が配置されておらず、また、環境生活
課内への設置であることから、市民が気軽に利用できないといっ
た課題が生じています。

同センターの充実に向けて、

- (1) 人員体制の強化
 - (2) 設置場所の移動
 - (3) より広く市民に知ってもらえるような広報活動の実施
- が必要であると考えられ、地域のニーズに沿ったサポート体制の
整備が求められています。

以上、協議会の総意により3項目について申し上げましたが、人
口減少が急速に進行する中でスピード感をもつことに加え、現場に
出て、現物を見て、現実を知る「三現主義」の実践により課題解決
に取り組まれますよう要望いたします。

令和4年8月29日

匝瑳市長 宮内 康幸 様

匝瑳市市民協働推進協議会
会長 大木 三喜男